

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

Tel 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

M9.0巨大地震にどう対処するか

住宅の耐震化と家具転倒防止など生命を守る住宅づくりを

3月11日に発生した東日本大震災。被災者のみなさんに心からお見舞いを申し上げます。また、亡くられた方にはご冥福をお祈りいたします。

倒れない住宅づくりに本格的に取り組む必要があります。

八潮

高層階で家具など転倒多発
共用部分の水道管破裂も

3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災。大きなゆれに襲われましたが、みなさんのお宅は大丈夫でしたか。八潮では高層階ほど大きくゆれました。

あらためて、倒れない住宅づくりに全力で取り組みます。

3月27日現在、死者1万804人、行方不明者1万244人、避難者は24万人と阪神淡路大震災を大きく超える深刻な災害です。

八潮は液状化が心配という声がありますが、団地内の発生はありませんでした。ただ、都立大井ふとう中央海浜公園内の野球場D面一ヶ所に発生。また、しおじ磯で地面に亀裂が入り段差ができました。原因の究明が必要です。

団地内では、震度5強で高層階が大きくゆれて、家具が

倒れたり食器類が飛び散るなどの被害や、住棟の共用部分の水道管が破裂(?)して水が大量に流れたり、大きなガラスにひびが入るなどはあちこちで見られました。後処理に携わったみなさんお疲れ様です。

区長に緊急要望を提出

3月25日(金)に共産党区議団は緊急要望を区長に提出しました。

被災して非難してきた方に対する対策については、①相談をワンストップでできるように、②住宅などの確保、③

保育園や学校などへ入る手続き、④高齢者などの施設入所、⑤仕事



確保、また、区民への対策として、①区内の被害調査して防災計画改定に反映させる、②社会的弱者に食料などを届ける、③水道水から検出された放射性よう素対策など7項目です。

対応は本間副区長と市岡総務部長です。区は、区民住宅と区営住宅15戸を避難してきた被災者に提供することを明らかにし、3月30日～4月1日に募集する予定です。

予算委員会で震災対策の集中質疑 3月18日

震災後一週間目(18日)の予算委員会で、各会派から震災対策についての質疑が行われました。

南は、区内で瓦が落ちたり建物に亀裂が入ったりなどさまざまな状況があるので、き

ちんと聞き取り調査をするのと、必要な対策を講じるべきだと求めました。また、家具転倒防止策の普及に努める必要があること、さらに、保育園や学校で震災直後どのような対応をしていたのかも聞きました。

まず、家具転倒防止については防災アドバイザーなどの会議で取り付け講習などを実

住宅の耐震強化と助成額の増額を求める

住宅の耐震性を高めるために国は平成27年までに90%と目標を定め、区もな

らっています。しかし、費用がかかるからなかなか実施にはいたっていません。区は4月以降、助成額を増やし木造・非木造住宅の場合、工事費助成額は150万円に拡大。設計費にも20万

施してさらなる普及を図っていくという答弁ですが、対象を広くして制度があることを知らせる必要があります。

また、保育園や学校では震災直後、子どもたちの安全を確認して保護者が迎えに来るまで待機。一部では教員が引率して自宅まで送ったと答弁。今後、検証の必要などもあるのではないかと思

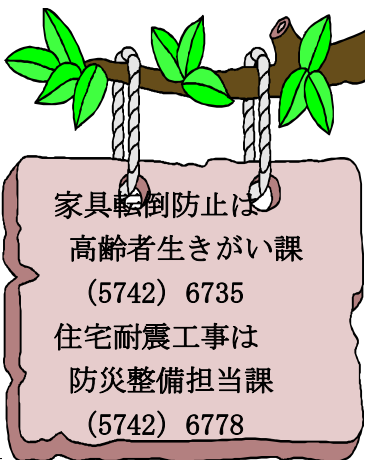
た。円の助成をつけ、区内全域でできるようにしました。

倒壊すると圧死だけでなく救援活動にも大きな支障が出るので、倒れない住宅づくりは大切です。日本共産党は助成制度をつくること、額の引き上げを求めています。

高層階では家具が倒れない対策が必要

転倒した家具による圧死から生命を守るために家具転倒防止も必要です。区は助成制度を作っていますが、対象者を狭く限定しています。不十分な内容なので対象者の拡大を今後求めています。

対象は65才以上の高齢者世帯と障害者世帯。非課税世帯は無料、課税世帯は1割負担です。



生活・雇用・子どもだて・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先

南恵子区議会議員

電話(3790)1523